

新規就農しました！

農業委員会だより

編集 農業委員会広報部会

第85号



野中 賢人さん・真希さん
(前坂)



柳澤 安広さん
(横倉一の三)

柳澤安広さんを紹介します。

今年の春に結婚し、えのき農家に就農された野中賢人さん、真希さんを紹介します。

野中 賢人さんは、前職の運送業から真希

さんの実家が営むえのき農家に就農し

ました。フォークリフトの資格も習得

し、力強い働き手となっています。現

在は仕事にも慣れ、休日には家庭菜園

を育て、秋にはキノコ狩りをしたいと

のこと。また、都会では見られない朝

夕に見る善光寺平の景色は格別とのこ

とです。

真希さんは、兄姉の影響で小学生からバレーボールを始め、高校卒業後に海外へ留学経験もあり、お母さんに似てとても頑張り屋です。

前坂地区久しぶりの新規就農者として期待しています。

(小池俊治 農業委員)

自動車ディーラーに整備士として入社し、資格を取得後は工場長も務めましたが、ご両親の高齢を機に就農されました。現在は、両親と共にラム70アール、りんご40アール、さくらんぼ20アールを栽培。さくらんぼは、直売やさくらんぼ狩りにも取り組み、販売にも力を入れています。

「自分で作った果物が消費者に届くと思うとやる気が出る。」と農業の魅力を語り、今後もラムを軸にさくらんぼの販路拡大を目指しています。地域農業を盛り上げる担い手として活躍が期待されます。

(小坂勇一 推進委員)



畔上 晃太郎さん
(宇木三)

畔上晃太郎さんを紹介します。

区にたどり着きました。前職を退職し、今年の4月からりんご栽培を始めた新規就農者です。ゼロからのスタートなので苦労も多かったです。ですが、現在はすっかり地域の一員として朝早くから夕方まで作業に励んでいます。現在は40アールほどの園地を管理し、今後は桃の栽培にも挑戦して面積を広げたいとのことで、将来が楽しみです。

(齊藤蝶次郎 農業委員)



上田 智巳さん
(湯河原一)

上田智巳さんを紹介します。愛知県出身でスキーを楽しむために訪れた山ノ内町

で農業に興味を持ち、町内を巡る中で横倉地区にたどり着きました。前職を退職し、今年の4月からりんご栽培を始めた新規就農者です。ゼロからのスタートなので苦労も多かったです。ですが、現在はすっかり地域の一員として朝早くから夕方まで作業に励んでいます。桃の栽培にも挑戦して面積を広げたいとのことで、将来が楽しみです。

(関 正秀 推進委員)

東部地区の農業は、沓野エリアの広大な水田と上条エリアの果樹園が地域の特色を成し、長年にわたり全国の市場や消費者から高く評価されています。特にシャインマスカットを中心としたぶどう栽培は、地域経済において強力な推進力となり、後継者不足などの課題を解決する一助となっていることは確かです。

(沓野エリアの水田地域では、将来に対する不安を抱えている農家が少なくなく、施策が急務です。次世代へとつなげるためには、基盤整備などの環境整備や、さらにはIT技術を積極的に導入した水田・果樹園の生産性向上を図ることが重要な課題です。

今後の展望としては、東部地区に限らず、山ノ内町全体を観光地として「活かし」を利用するための戦略的なアプローチが求められ、地域資源を最大限に活用し、農業と観光が一体となる形での発展に注力していくことで、持続可能な地域振興が可能となると信じています。

東部地区の農業の現状と課題、そして展望

(山口 剛 推進委員)

北信州農村女性のつどいに参加して

8月26日、志賀高原総合会館98ホールにて、「北信州農村女性のつどい」が開催され、今年は地元での開催となり、実行委員として企画段階から携わり、参加させていただきました。

このつどいは、毎年北信地域の女性農業者を中心に、農

業関係者が一堂に会し、先進的な取り組みや活動事例を学ぶ機会として開催されています。フリーマーケット、東京科学大学管弦楽団の生演奏で150名の参加者をお出迎えしました。

今年のテーマは「農業と観光」第一部では、「野沢温泉のざわな蕪四季會社」と

中野市の「北原丸徳農園」から、ユニークな工夫を取り入れた観光農園の事例発表がありました。第二部では、町内で活躍する「ホテル豊生」、「米屋のおにぎり結や」、「湯田中渋温泉郷女将の会ゆのか」から宿泊と農業体験、小学生との食育、地元野菜を取り入れたメニューや、そして町の魅力を盛り上げ、おもてなしの心を伝える活動が発表されました。参加者それぞれが工夫した取り組みと今後の課題について考える貴重な一日となりました。

(渡辺輝子 農業委員)

(小林 貴 農業委員)

(白鳥金次 農業委員)